

平成24年度 法人本部事業報告

1. 総括

平成24年度は、障害福祉サービス費・介護給付費の見直しが行われ、施設入所系サービスの単価は軒並み減額となりました。

入所型施設中心の当法人では、福祉専門職配置加算、人員配置体制加算、重度加算、福祉・介護職員処遇改善加算等の各加算を取り入れることによって収入の減額を防ぎ、利用者サービスの向上を図るための職員の増員及び職員の処遇を低下させることのない経営に努めました。

また、経費節減・集中管理等効率的な経営を行い、中・長期計画にある施設整備等の財源の積立を行うことができました。

- (1) 本部に事務局を設置し、専任の職員配置による集中管理、法人の本部機能の強化をしました。
- (2) 永楽苑デイサービスセンター及び在宅介護支援センターを合川地区中心街に移設し、さざなみ温泉より温泉を引き込み、利便性の良い快適なサービスを提供できるようにしました。
- (3) 障害者施設の新体系の移行に伴う日中職員の減少対策及び介護施設の介護職員の負担軽減のため、各種加算制度を取り入れ常勤職員12人の増配を行いました。
- (4) 経営環境の変化に対応した経営課題を迅速に協議し、福祉事業の安定的・継続的経営と公益的で信頼性の高い経営に努めるために、役員による福祉情勢の研修を積極的に行い、当法人の将来について意見交換を行いました。
- (5) 資格手当の創設（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）を行い、職員の意欲向上・能力開発に努めました。
今年度介護福祉士取得23名。
- (6) 準職員から正職員への積極的な登用を図り、10人を正職員に登用しました。
- (7) ホームページを開設し、広報の発行と合わせて情報開示に努めました。
4月からの当法人ホームページへのアクセス数58,000件を超えている状況です。